

令和7年2月20日

富士見市議会議長 田中栄志様

総務常任委員会委員長 佐野正幸

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、所管事務調査として下記の事項について調査を終了したので、富士見市議会会議規則第109条の規定により別添のとおり報告書を提出します。

記

- 1 調査事項 防災について
- 2 実施期間 令和6年4月18日から令和7年2月20日まで

所管事務調査報告書

令和7年2月20日

総務常任委員会

委員長
委員
委員
委員

佐野 正幸
根岸 操
村元 寛
篠田 剛

副委員長
委員
委員

宮尾 玲
伊勢田 幸正
関野 兼太郎

1 調査事項

防災について

2 調査目的

富士見市では、令和6年元旦に発生した能登半島地震による甚大な災害も踏まえ、災害対応体制の強化を図っている。そのため、本委員会では、令和6年度の調査事項を「防災について」とし、市の防災対策に資するべく、年間を通じて特に以下の3点に関して先進自治体の視察や関係団体との意見交換会を行うこととした。

- (1) 大規模災害が発生したときの対応及びその後の取組事例を調査する。
- (2) 本市では、中央防災センターを整備する計画が決まり、令和6年度の予算では当該用地を取得する予算も組まれたことから、人口規模や災害が起こる状況・防災に向けた課題が似たような自治体の先進的な防災施設の事例を調査する。
- (3) ペット防災の先進自治体を調査するとともに、市内活動団体と意見交換を行う。

3 調査の実施状況

令和6年4月18日（木）	総務常任委員会 ・防災について調査することを決定 ・行政視察の実施（ふじみ野市）について決定
令和6年5月16日（木）	行政視察 テーマ：ふじみ野市防災備蓄品管理倉庫について 視察先：埼玉県ふじみ野市 【概要】 本市と隣接するふじみ野市は、人口規模・災害が起こる状況・防災に向けた課題がほぼ同じである。 また、本市で計画されている中央防災センターの建設規模は、ふじみ野市防災備蓄品管理倉庫と同程度となる予定であることから、当倉庫を設置した経緯・現状・課題を調査した。
令和6年6月11日（火）	総務常任委員会 ・行政視察の実施（二本松市・福島市）について決定 ・行政視察報告書（ふじみ野市）の提出について決定

<p>令和6年7月30日（火）から 令和6年7月31日（水）まで</p>	<p>行政視察 テーマ：防災について 視察先：福島県二本松市 【概要】 二本松市は、東日本大震災において、人的被害や家屋・ライフラインが甚大な被害に見舞われるとともに、その後の福島第一原子力発電所の事故により目に見えない放射線との戦いと未曾有の災害に見舞われたことから、災害発生時の対応とその後の取組について調査した。 なお、二本松市とは、「富士見市と二本松市との災害時相互支援に関する協定」を締結している。</p> <p>テーマ：ペット同伴避難所について 視察先：福島県福島市 【概要】 本市ではペットの同行避難の訓練が始まったが、福島市では同行避難より踏み込んだ取組として、ペットと同室で飼養管理することが可能な「ペット同伴避難所」の開設にも取り組んでおり、先進事例を調査した。</p>
<p>令和6年9月10日（火）</p>	<p>総務常任委員会 ・行政視察報告書（二本松市・福島市）の提出について決定 ・意見交換会の実施について決定 ・意見交換会実施要請書及び議員派遣決定要求書の提出について決定</p>
<p>令和6年10月10日（木） 午後1時30分から 午後3時30分まで</p>	<p>意見交換会 テーマ：ペット防災の現状と課題について 対象者：彩の国動物愛護推進員ちーむ富士見 【概要】 本市のペット防災の取組を協働している市内活動団体の方々と意見交換を行った。</p>
<p>令和6年12月3日（火）</p>	<p>総務常任委員会 ・意見交換会実施報告書及び議員派遣報告書の提出について決定</p>

令和7年2月20日（木）

総務常任委員会

・所管事務調査報告書の提出について決定

4 調査結果

(1) 大規模災害が発生したときの対応及びその後の取組事例の調査（福島県二本松市）
大別して、次の事項について確認することができた（詳細は、令和6年9月10日付けの行政視察報告書を参照）。

- ①防災の取組や計画（震災後の防災計画の見直し状況）について
- ②自主防災組織の体制及び取組について
- ③東日本大震災の被害状況及び東日本大震災以降の災害時例と対応について
- ④他地域からの避難者受入れに至った経緯
- ⑤住民への伝達体制（防災行政無線・個別受信機）の整備経過

(2) 中央防災センターの整備に向けた先進自治体の調査（埼玉県ふじみ野市）
大別して、次の事項について確認することができた（詳細は、令和6年6月11日付けの行政視察報告書を参照）。

- ①備蓄体制（分散型防災倉庫・中型防災倉庫・大型防災倉庫及び地域内輸送拠点）
- ②倉庫内の特徴
- ③防災倉庫を使った訓練
- ④管理方法
- ⑤利活用計画

(3) ペット防災に関する先進自治体の調査（福島県福島市）と、市内活動団体（彩の国動物愛護推進員ちーむ富士見）との意見交換。

福島県福島市の視察では、大別して、次の事項について確認することができた（詳細は、令和6年9月10日付けの行政視察報告書を参照）。

- ①経緯と設置に向けた取組
- ②設置場所の条件と避難所体育館内の配置
- ③設置後の取組

そして、市内活動団体（彩の国動物愛護推進員ちーむ富士見）との意見交換会では、大別して、次の事項について確認することができた（詳細は、富士見市議会意見交換会実施報告書を参照）。

- ①災害時のペットの避難に関する取組と今後の課題について
- ②動物（ペット）を飼うということの現状と課題

(4) まとめ

富士見市地域防災計画（令和4年3月）では、「『東京湾北部地震』は今後30年以内の発生確率が70%であり、埼玉県も想定地震としていることから、本市におい

ても『東京湾北部地震』を想定する」としている。令和6年には能登半島地震も発生しており、年度を通じて所管事務調査で得たことをしっかり活かし、さらなる災害対応体制の強化に取り組んでいく。